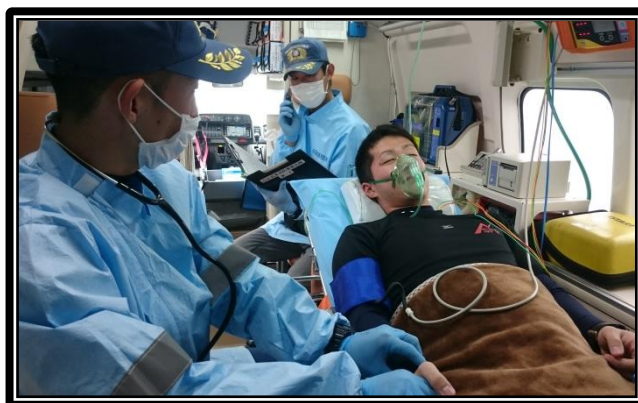


『救急隊の活動に、ご理解とご協力を』

「なぜ、すぐに運んでくれないの？」

救急隊が現場に留まっている時間は、病院側が事前に知りたい傷病者の情報を聴取したり、病気やケガを観察し、必要な応急処置又は救命処置（器具を使った気道確保・点滴等）を行っている時間です。状況が分からないまま病院へ搬送しても、対応する病院スタッフの事前準備が出来ていないため、症状に合った迅速な対応が困難となります。



※病院への搬送を迅速に行うために、次のことにご協力をお願いします。

○緊急時は「119」！

緊急時に固定電話・携帯電話から通報するどちらの場合でも、局番なしの「119」をダイヤルして下さい。最寄りの消防署代表電話へかけないようにして下さい。

○119番通報に対応する職員と救急隊は別行動です！

電話対応中でも救急隊は出動します。現場活動に役立つ貴重な情報となりますので、途中で電話を切ることなく落ち着いて質問に答えて下さい。

○保険証やお薬手帳、医療情報の準備を！

保険証やお薬手帳を準備しておいて下さい。「やすらぎ手帳」や「絆ボタン」をご利用の方は、定期的に記入状況（緊急連絡先、病歴など）を確認して下さい。